

生 物 学

教 授 尾 崎 宏 基
教務職員 荒 館 忠

◆ 研究概要

- ・前脳交連線維系の形成過程に関する神経解剖学的・神経生物学的研究
- ・糖尿病治療薬の開発を目的とした天然生理活性物質の探索と応用に関する研究

◆ 原 著

- 1) Nakashima M., Uemura M., Yasui K., Ozaki H.S., Tabata S., and Taen A.: An antero-grade and retrograde tract-tracing study on the projections from the thalamic gustatory area in the rat: distribution of neurons projecting to the insular cortex and amygdaloid complex. *Neuroscience Research*, 36 : 297-309, 2000.

◆ 学会発表

- 1) 尾崎宏基, 荒館 忠: マウス海馬交連の発生過程. 第105回解剖学会総会, 2000, 3, 横浜.

統 計 ・ 情 報 科 学

教 授 折 笠 秀 樹

◆ 研究概要

脳卒中QOL調査票の開発とその評価, 社会支援QOL調査票の開発とその評価, 心臓病患者や血液透析患者に対するQOL調査を実施してきた. 急性期精神病のための病状尺度の開発や, JELIS臨床試験(高脂血症)やJAPAN-KD臨床試験(保存期慢性腎不全)のデータセンターとしての活動も進行中である. 厚生省の糖尿病診療ガイドライン調査研究はほぼ完成させた. 新たに, 伝統医薬に関するアウトカム研究及び臨床試験のプロジェクト, 医学データ分析法の研究(文部省)を開始した.

◆ 著書・訳書

- 1) 松島雅人, 折笠秀樹, 田嶋尚子: 5-2. EBMと糖尿病診療. 「分子糖尿病学の進歩2000」矢崎義雄監修, 清野 進, 渥美義仁, 門脇 孝, 春日雅人編, 金原出版, pp.120-127, 2000.
- 2) 折笠秀樹: 用語解説. 「循環器トリアルガイド2000」, 井上 博, 桑島 巖, 寺本民生, 永井良三, 堀正二編, 260-265, ライフサイエンス出版,

2000.

◆ 原 著

- 1) 折笠秀樹, 内潟安子, 坂巻弘之, 森岡斗志尚, 大谷敏嘉, 大谷洋一, 岩本安彦: 糖尿病患者の病態・症状の違いとSF-36プロフィールの関連性, *臨床薬理*, 31(2) : 243-244, 2000.

◆ 総 説

- 1) 折笠秀樹: 医学論文を理解するための統計学の知識. *神経治療学*, 16(5) : 587-590, 1999. (昨年漏れ分)
- 2) 折笠秀樹: メタアナリシスとその危険性. *日本病院薬剤師会雑誌*, 36(2) : 191-192, 2000.
- 3) 折笠秀樹: 症例数はどのくらい必要なのか? *InfoMedica*, 1月号 : 16-17, 2000.
- 4) 折笠秀樹: EBMに則った診療ガイドライン. *Mebio*, 17(2) : 42-46, 2000.
- 5) 折笠秀樹, 門脇 孝, 田嶋尚子(司会): EBMに基づいた糖尿病診療のガイドライン(座談会). *今月の治療*, 8(6) : 583-597, 2000.
- 6) 太田和夫, 佐中 孜, 平沢由平, 中川雅夫, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 低分子ヘパリン(レベパリンナトリウム)の開発とその臨床評価. *腎臓*, 22(3) : 162-185, 2000.
- 7) 折笠秀樹: EBMの実践に必要な臨床統計学のキーワード. *今月の治療*, 8(6) : 636-643, 2000.
- 8) 折笠秀樹: 標準化へ向けてのRCT論文の書き方(1). *薬理と治療*, 28(5) : 363-366, 2000.
- 9) 折笠秀樹: EBMとは何のことか? *Info Medica*, 4月号 : 16-17, 2000.
- 10) 折笠秀樹: 臨床試験における中間評価の必要性. *計量生物学*, 21巻特集号 : 1-25, 2000.
- 11) 折笠秀樹: EBMからみた高血圧治療(I): 無作為化試験とメタアナリシス. *ドクターサロン*, 44(9) : 685-689, 2000.
- 12) 折笠秀樹: 薬剤師にとって知っておきたい臨床疫学及び生物統計学—薬物療法の臨床効果を読む—. *日本薬剤師会雑誌*, 52(7) : 985-992, 2000.
- 13) 折笠秀樹: 薬物治療に伴う有害事象に関する論文の読み方. *日本薬剤師会雑誌*, 52(8) : 1121-1126, 2000.
- 14) 折笠秀樹: 糖尿病のエビデンスをどのように入手し, 利用したらよいか. *EBMジャーナル*, 1(5) : 561-567, 2000.
- 15) 折笠秀樹, 門脇 孝: EBMとガイドライン(座談会). *DITN*, No.271 : 2-3, 2000.
- 16) 松倉知晴, 折笠秀樹: 糖尿病のエビデンスの検索方法. *内分泌科・糖尿病科*, 11(5) : 432-437,